

三重大学血液・腫瘍内科の学術研究に関するお知らせ

急性骨髄性白血病に発現するサイトカイン受容体の予後因子としての有用性に関する検討

ヒトの体内では、さまざまなサイトカインが産生され、血液細胞の増殖分化や複雑な免疫反応の制御に関わっていることが明らかにされています。白血病の細胞も、種々のサイトカインに反応して、分裂増殖することが知られていますので、白血病細胞のサイトカインに対する反応の程度が、患者さんの臨床経過にも大きく影響を与えていることが推測されます。そこで、この研究では、サイトカインが作用するために必要な白血病細胞の表面に存在するサイトカイン受容体の発現を検索し、白血病患者さんの臨床経過と照らし合わせて比較検討することにより、どのようなサイトカインの反応システムが臨床像と強く関連しているのかを明らかにします。また、治療成績に影響を与えることが知られている細胞表面抗原や染色体核型とも合わせて検討することにより、臨床予後を判定するマーカーとしてのサイトカイン受容体発現の意義についても検討し、患者さんが適切な治療を受けて頂くための白血病の予後分類に役立てることを目指しています。

研究の対象

この研究は、三重大学医学部附属病院血液・腫瘍内科を含む国内の共同研究施設で、1987 年から 2010 年までに、急性骨髄性白血病と診断され、治療、通院を続けられた患者さんを対象としています。

研究の方法

サイトカイン受容体、細胞表面抗原、染色体核型の検査結果のデータは、白血病診断時に既に、採取させて頂いた血液検体から得られたものを使用します。臨床像の調査内容は、患者さんの性別、年齢、末梢血の白血球数、治療の効果、転帰です。患者さんの氏名、生年月日、カルテ番号などは使用せず、本研究用に作成したコード番号のみを使用し、患者さんの氏名などの個人情報 が外部に漏れることは絶対ありません。研究内容の成果は学会や学術論文として公表される予定

です。

研究の対象者の利益と不利益

この研究に関し、患者さんの新たな費用負担や採血検査などの身体的負担は一切ありません。ご自分の調査内容を、この研究に使用してほしくないとお考えの患者さん（患者さんが既に死亡されている場合はご遺族の方）は、平成 27 年 6 月 30 日までに、下記の連絡先まで、ご連絡をお願い申し上げます。調査内容の使用に当たっては、患者さんおよびご家族に不利益が生じないよう、以下のことを厳守致します。

- ・ 医学研究以外には使用しません。
- ・ 患者さんおよびご家族の個人情報厳密に守秘します。
- ・ 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しません。
- ・ 研究への協力の撤回は可能（上記の期限内）であり、それによって患者さん、ご家族に不利益を及ぼすことはありません。

この研究の責任者

三重大学医学部附属病院がんセンター 中瀬一則

住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

TEL 059-231-5296 FAX 059-231-5348